

参加者：
在原、伊藤、内山、岡部、北島、佐藤、島崎、
田中、土田、中島、並木、安田、吉野、
ゲスト；
神田、神崎、高橋、望月、山岸、

BMW RS CLUB

かわらばん

Nov 5, '06

11/5

今年最後の秋を求めて
箱根より伊豆高原へ

かわらばん；中島邦雄、写真；土田裕士

「一の酉」の四日、浅草の吉原に近い鷺神社（おとりじんじゃ）では、午前0時の一一番太鼓を合図に「酉の市」が始まりました。此処は昔から商売繁盛や家内安全を祈願する人々で賑わい、境内には縁起物の熊手を売る露店が並び、売れる度にハッピ姿のいなせな売り手が、威勢の良い掛け声とともにシャンシャンと手締めの音を響かせています。昔は今よりもずっと寒さが厳しく、市が立つ頃には厚手のコートに身を固め、寒空に下駄の乾いた音が響いていたのを思い出します。初冬の風物詩ベッタラ市に始まり「酉の市」が立つ頃には、もう冬の支度が始まっています。考えてみるとこの七日はもう立冬で、暦の上ではいよいよ冬の到来となります。いつになら木枯らしの吹きすさぶ冬が来るのでしょうか。それだけにこの暖かさの中での「酉の市」は何か一つピンと来ず、お互いに日々の生活の中で心掛けないと、温暖化は確実に進んでいるのかも知れません。百年先には北極の白熊が居なくなるという、或る動物学者の恐ろしい話も聞かれます。

三月の伊豆に始まり今回の伊豆で締めると言う、今年最後のツーリングが催行され、ゲストも含め総勢18人の仲間が顔を揃えました。前回の磐梯～白布温泉の一泊旅行といい、このところ見事な晴天に恵まれています。

集合地は「東名海老名SA」でしたが、三日の祭日から三連休の人も多いとみえ、首都高速も東名高速も車が多く、時間を過ぎてもなかなか仲間が揃いません。ここにも多くのバイクが並び、お互いに集合場所が分からず、携帯で連絡しあう程でした。そうこうしている内に去年オカミに免許証を召し上げられた内山さんが、なんと在原さんとタンデム登場したのには全員がびっくり。彼は大柄なのでバイクから体が飛び出すように見えました。そして背骨を壊しやや太目になった北島さんが、しっかりと上半身にコルセットを巻き、歩くと見た目にはややぎこちない動きなのにバイクに乗って現れました。「大丈夫なのかい？」と乗ってきた本人以上に、見ている回りの方が心配になりました。

朝方は曇っていた空から薄日がもれ始め、覆面もパトカーもそして白バイも多いと言われ、実際に白バイに捕まつた奴を横目に見ながら「小田原厚木道路」を全車が無事に通り抜け、箱根ターン・バイクの入り口に勢揃いしました。

料金所のゲートの親父が「この道は覆面ではなくパトカーが堂々と走っているよ」と言わされた事も忘れたかのように、奇麗な緑の中を各車がカッ飛んで行きます。大観山の駐車場にはイベントでも有るかのように、無数のバイクが集まっていました。RSクラブ御用達とも言える伊豆スカイラインに入ると、紅葉する木の少ない箱根ですが、周囲はそれなりに秋の色に変わり始め、いつもは右手に見事に聳え立つ富士山が、この日は残念ながら雲に隠れて見えませんでした。「亀石峠」まで走って一休みし、そこから伊豆高原へ向かって出発しました。今回も冷え川料金所のすぐ手前の処から農道へ切り込み、玄岳までの一区間の料金で全線を走りきり、昼飯代の一部を浮かせました。現代版の関所破りです。

タンデム走行の在原さんは「二人乗りでも余り変わりませんよ」と普段と変わらないようなスピードで山道をすっ飛んで行き、病み上がりの北島さんもバイクに乗ると、それを感じさせないような速さでカッ飛んでいます。

一般道へ出たので少し走り山道へ入りました。段々と道が狭まり時々現れる車が、バイクとギリギリに擦れ違って行くような道から大室山へ。そして桜の頃にはさぞや素晴らしいと思われる並木を抜け、お馴染み「ゆき文」へ12時に着きました。春に来ると真っ白な花が匂う庭の甘夏は、今年がなり年だそうで、沢山の見事な実を付けていました。しかし近頃はサボテン公園から逃げ出した台湾リスが増え、甘夏の実や木の幹を食い荒らして困ると、親父さんが嘆いていました。日差しの中を走って喉が乾いているものの、当クラブでは走行中は禁酒の為に、ノン・アルコール・ビールを買いに行ってもらい、自家製の熱々のさつま揚げを肴に飲んでヤット一息。そして車エビの姿揚げから始まる天麩羅コースが始まりました。メゴチ、ハゼ、野菜などが続き、途中で国産松茸の炊き込みご飯が一膳だされ、最後にかき揚げの乗った天丼でもう満足です。本当にこの店はいつも来て安く感じも良く、あまり人には教えたくないお店の一つです。今日は初めて来年小学校へ上がるという、可愛いお孫さんの女の子にも会いました。玄関前でクラブの旗を広げて記念撮影をし、二時ちょうどに海岸線へ向けて出発し、海岸へ出てすぐのスタンドで各車がガス補給をしました。150キロ程の走行です。

城ヶ崎方面へ進み伊東市から再び海岸線に戻りました。安田さんが「サンハトヤ」で買った塩辛が忘れられずに、わざわざ此処へ寄り、彼が買いに行ったその店は閉店したとか。通りの真ん中にショロの木が続き、目の前に広がる海が、そろそろ澄んだ冬の色に変わり始め冬が近い事を感じさせます。海岸線から左折して再び「亀石峠」へ集結して走り出すと夕日の中で色とりどりのハングライダーが日を受けながら舞うように飛んでいました。帰りの車が増え出した中を箱根峠に向かい、箱根新道へと入りました。



この道は安くて帰りの便も良いのですが
帰る頃には何時も混み合い、下るに
つれてこの日も矢張り渋滞中でした。
昼間の内は汗ばむような一日で
したが、日が落ちると気温が下り
始めやや肌寒さを感じました。
料金所の前に全車が揃ったところ
で解散となり、日の陰り出した中
を各車が一斉に「小田原厚木道路」へ
と飛び出して行きました。厚木のゲー
ト前から延々と車が連なり、ETCのお陰
でチョイとゲートを出ると、なんと東名
高速へ入る事が出来ない大渋滞でした。
心配した首都高速はガラガラの状態でした。

個人的な一寸した事故は合ったようですが、クラブのツーリングとしては一度の事故も無く、無事に一年間が終わり12月2日の忘年会と役員の改選を残すのみとなりました。二期を務めて下さいました北島さん、そして役員の皆様には本当にお世話になりました。

忘年会はメンバーの希望により、過去二度の会を開きました新橋の「新橋亭」で開催することになりました。毎回大好評の20年ものと言われる紹興酒を存分にお飲み下さい。この酒は頭は冴えていて腰を取られるのでご注意下さい。なおご案内は私の方より12日以降にお送りします。会からの補助もだいぶ有りそうですので奮ってご参加下さい。混み合う時期ですので早くに部屋の確保をしたいと思います。早目のご返事をお待ち致しております。

ツーリングの度に土田さんが写真を撮り、無償で我々に下さっています。参加者一同、本当に感謝の気持ちで一杯です。今後ともよろしくお願ひ致します。なお今回不参加の方々に、土田さんより預かりました一泊の際の写真をご同封致します。毎度、挿絵を描いてくれている小倉さんが、実家の広島へ帰省中の為、磐梯山で土田さんの撮られた写真を使わせて頂きました。